

平成27年11月26日

平成27年度上半期業績 説明用資料

あなたの未来を強くする



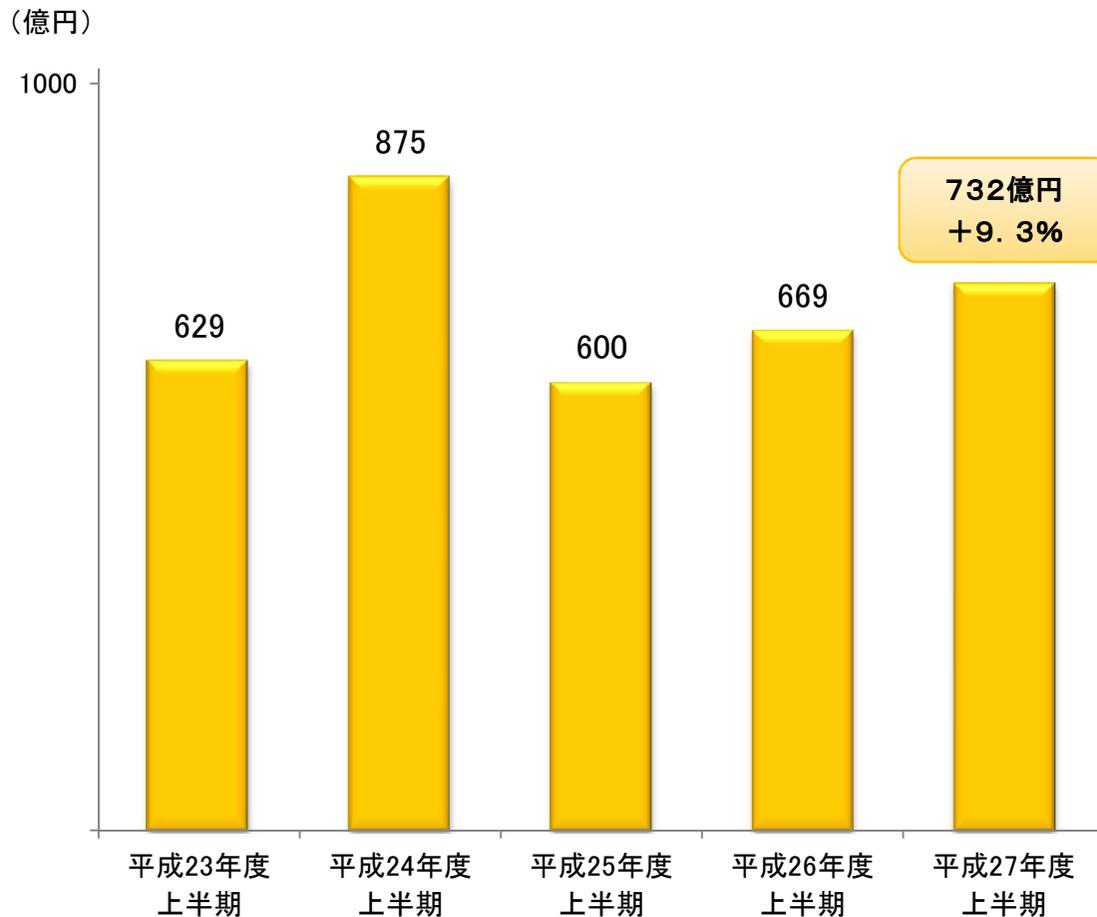
平成27年度上半期業績のポイント

- 保険料等収入・新契約年換算保険料は増加。
- 基礎利益は変額年金保険に係る標準責任準備金繰入れ等により減少するも、変額年金保険の影響を除いた実質的な基礎利益は増加となり、堅調に推移。
- 利息及び配当金等収入は増加。平成26年度決算に続く順ざや。
- 安定的な基礎利益を源泉とし、内部留保を積み増し。
- 企業価値を表すヨーロッパ・エンベディッド・バリュー（EEV）は増加。

業績の状況

- 新契約年換算保険料は、主力商品(Wステージ・ライブワン)や貯蓄性商品の販売好調を主因とし、前年同期比 9.3%の増加。営業職員チャンネル・金融機関チャンネル双方において、新契約件数、新契約年換算保険料が前年同期比増加。

新契約(新契約+転換純増)年換算保険料



	新契約件数		新契約年換算保険料	
		前年同期比		前年同期比
平成27年度 上半期業績	53.8万件	+ 8.2%	732億円	+ 9.3%
営業職員等	45.6万件	+ 5.0%	475億円	+ 4.1%
金融機関等	8.1万件	+ 30.9%	256億円	+ 20.4%

- ✓ 営業職員チャンネルでは、コンサルティング力の向上により、**主力商品や一時払終身保険の販売件数が増加**。
- ✓ 金融機関チャンネルでは、取扱い金融機関数の増加も相まって**平準払商品(個人年金保険・終身保険)の販売が過去最高**。

	新契約件数 前年同期比
主力商品(Wステージ・ライブワン)	+ 16.5%
うち未来デザイン	+ 33.4%
一時払終身保険	+ 55.6%
(金融機関等)平準払商品	+ 66.5%
うち定額個人年金保険	+ 40.1%

※金融機関等における平準払商品には平準払定額個人年金保険「たのしみ未来」、平準払終身保険「ふるはーとF」「ふるはーとL」、平準払医療終身保険「たよれるYOUプラス」、低解約返戻金型定期保険「エンブレムYOUプレミアム」を含みます。

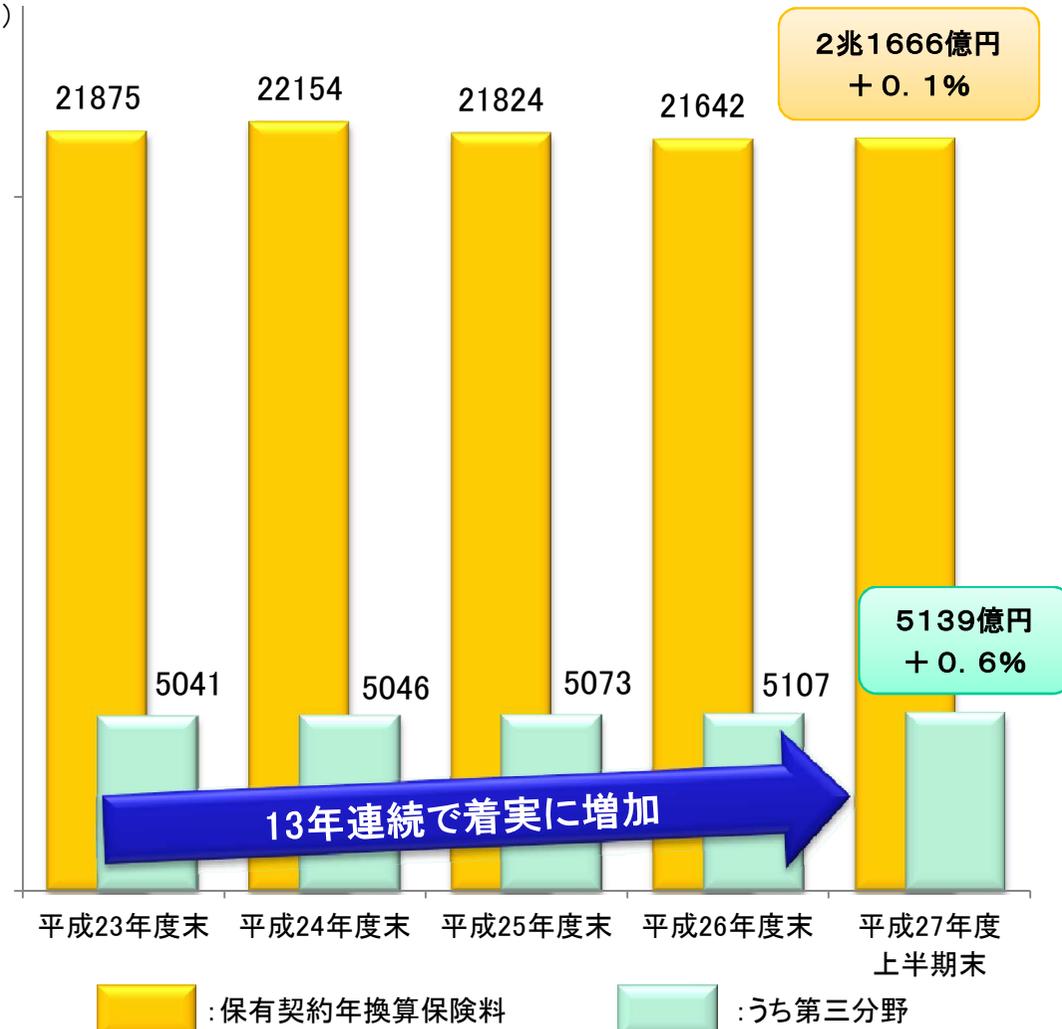
業績の状況

- 解約＋失効年換算保険料は、金融機関を通じて過去に販売した変額年金保険において、積立金の増加したご契約で解約が増加したこと等により、前年同期比 14.6%の増加。うち営業職員は前年同期比4.3%の改善。
- 保有契約年換算保険料は、新契約年換算保険料の増加等を受け、前年度末比 0.1%の増加。第三分野も、前年度末比 0.6%の増加（開示以来13年連続で着実に増加）。

解約＋失効年換算保険料



保有契約年換算保険料



「スミセイ中期経営計画2016」の状況

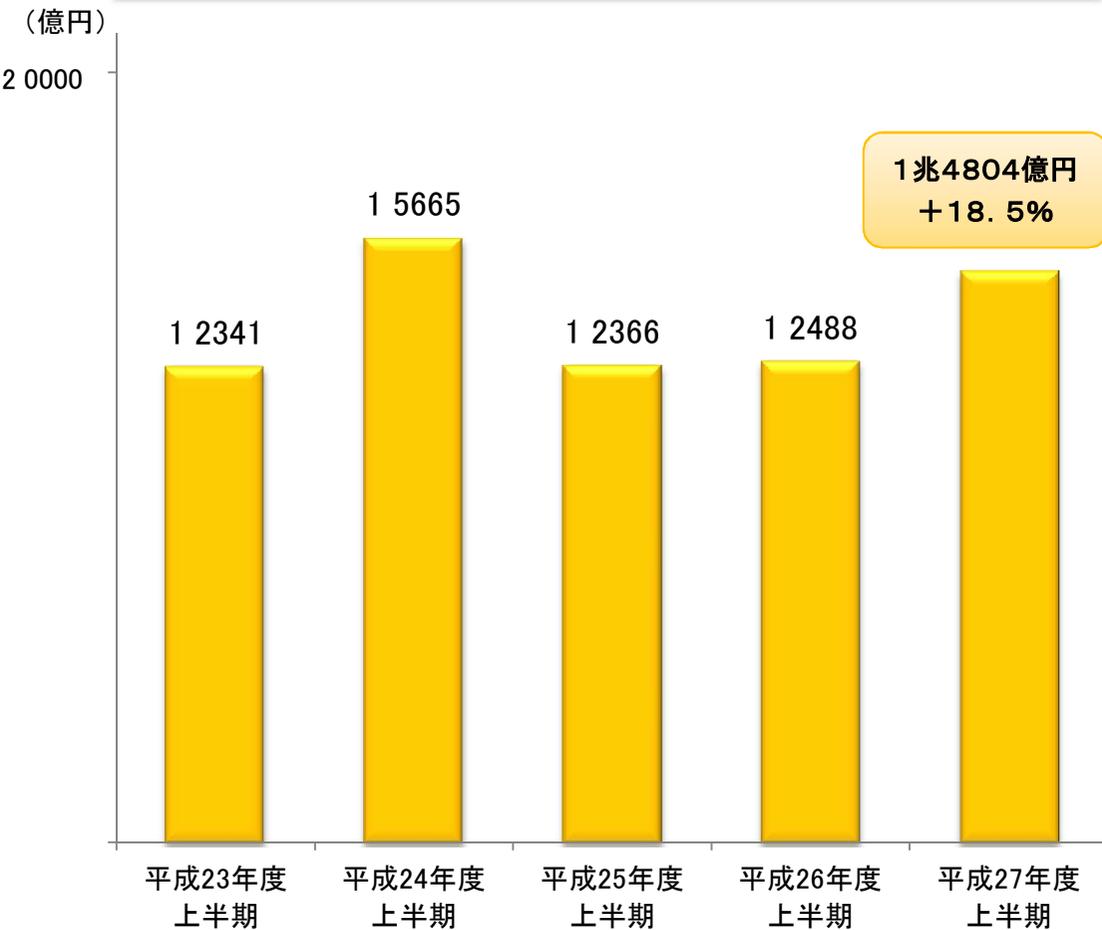
(住友生命とメディケア生命の合算)

	平成27年度 上半期末実績	平成28年度末目標
保有契約年換算保険料	2兆1863億円	2兆2584億円
うち第三分野	5281億円	5550億円

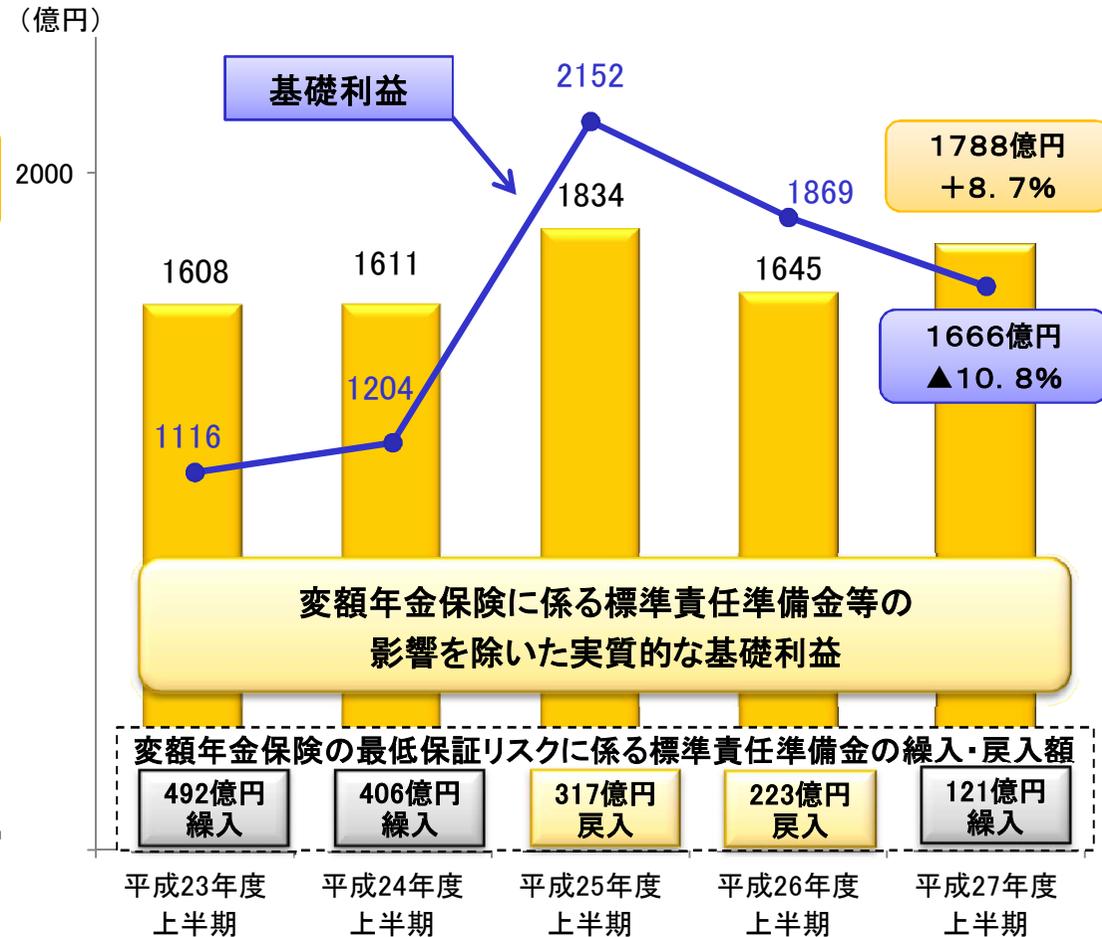
収支の状況

- 保険料等収入は、貯蓄性商品の販売好調を主因とし、前年同期比 18.5%の増加。
- 基礎利益は、変額年金保険に係る標準責任準備金の繰入れ等により、前年同期比 10.8%の減少。
- 変額年金保険の影響を除いた実質的な基礎利益は前年同期比 8.7%増加し堅調に推移。

保険料等収入



基礎利益



※平成27年度上半期は、基礎利益には、個人年金保険の年金開始後契約の一部および第三分野保険の一部について、前年度以前に追加して積み立てた責任準備金からの戻入額を含めています。この戻入額を基礎利益に含めたことにより、基礎利益は128億円増加しています。

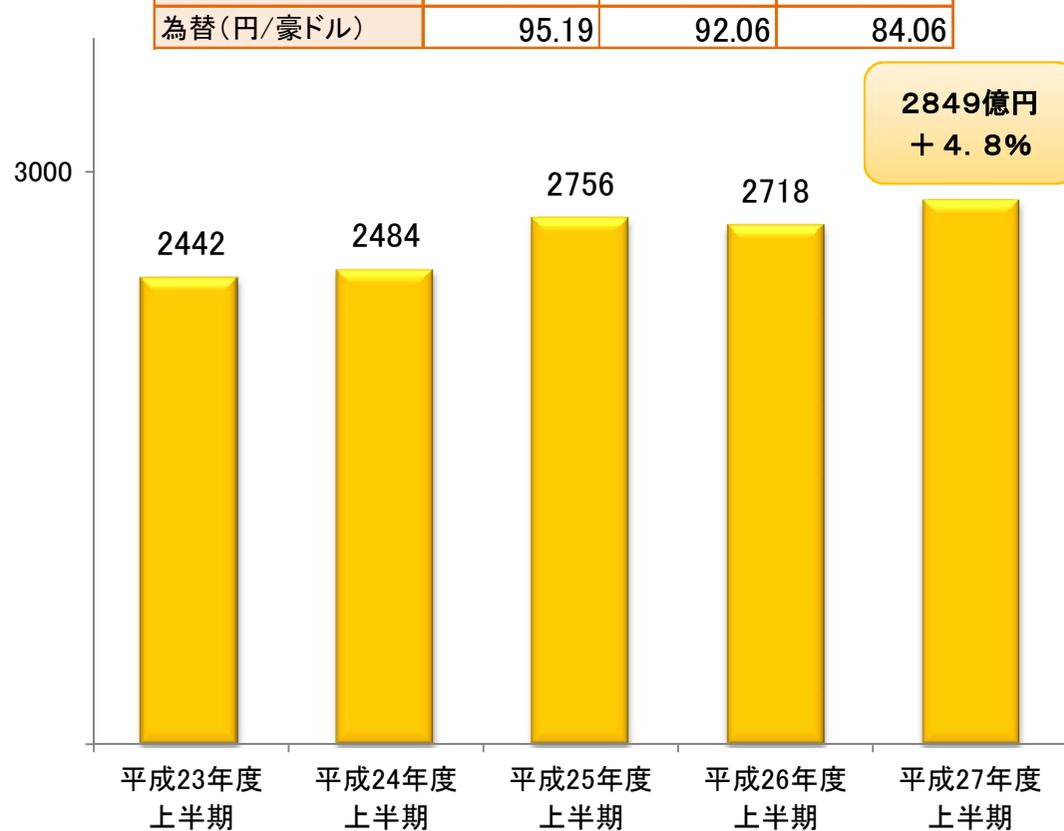
収支の状況

- 利息及び配当金等収入は、外国債券の積増しに加えて、円安による利息収入増加により、前年同期比 4.8%の増加。
- 順ざや額は、97億円(前年同期比 158億円改善)。

利息及び配当金等収入

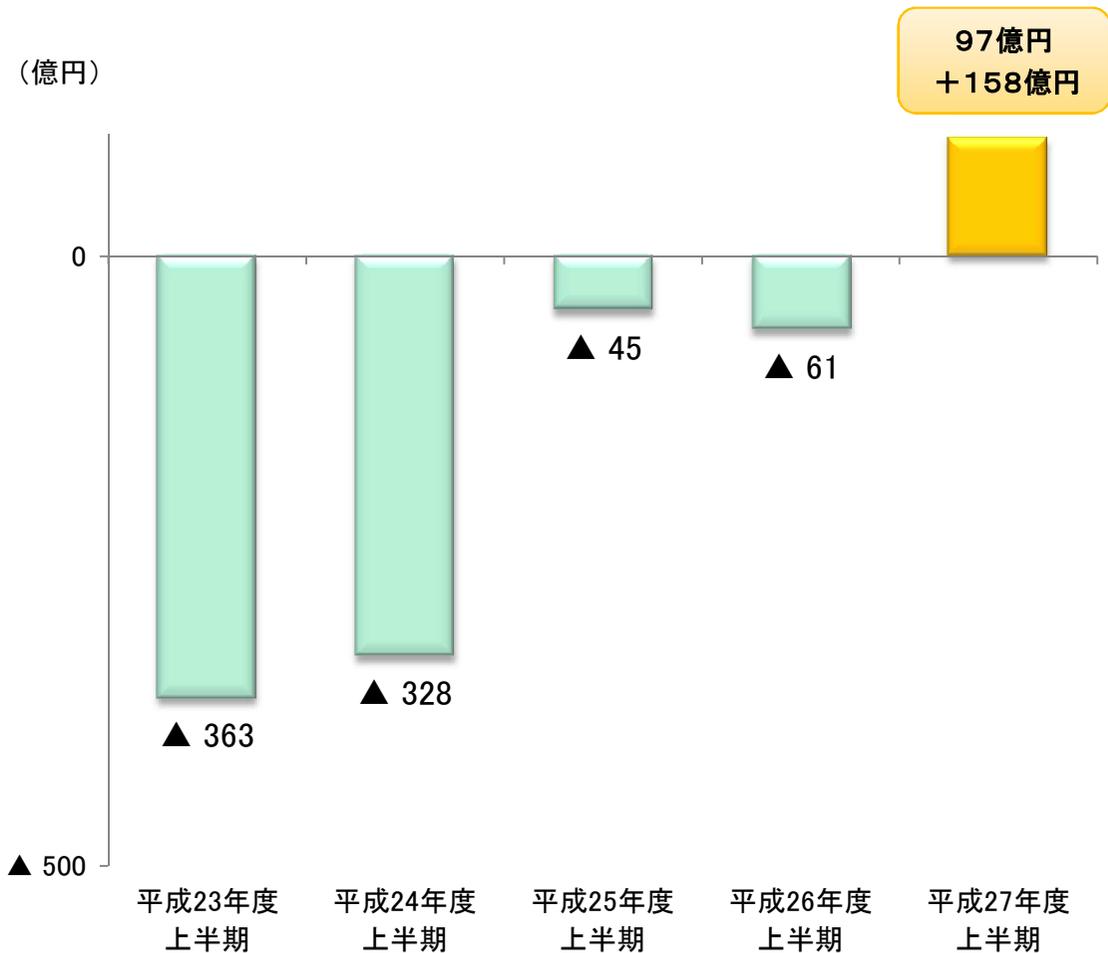
	平成26年度 9月末	平成26年度末	平成27年度 9月末
10年国債金利(%)	0.520	0.395	0.345
為替(円/ドル)	109.45	120.17	119.96
為替(円/ユーロ)	138.87	130.32	134.97
為替(円/豪ドル)	95.19	92.06	84.06

(億円)



逆ざや・順ざやの状況

(億円)

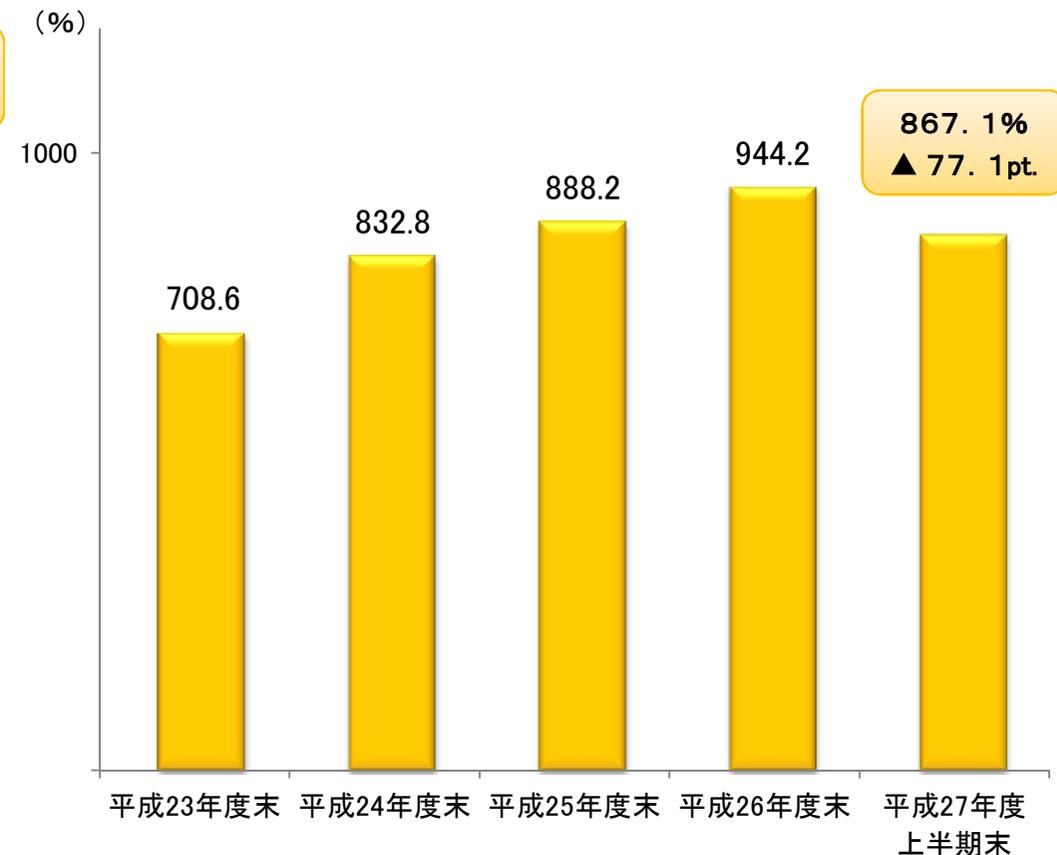
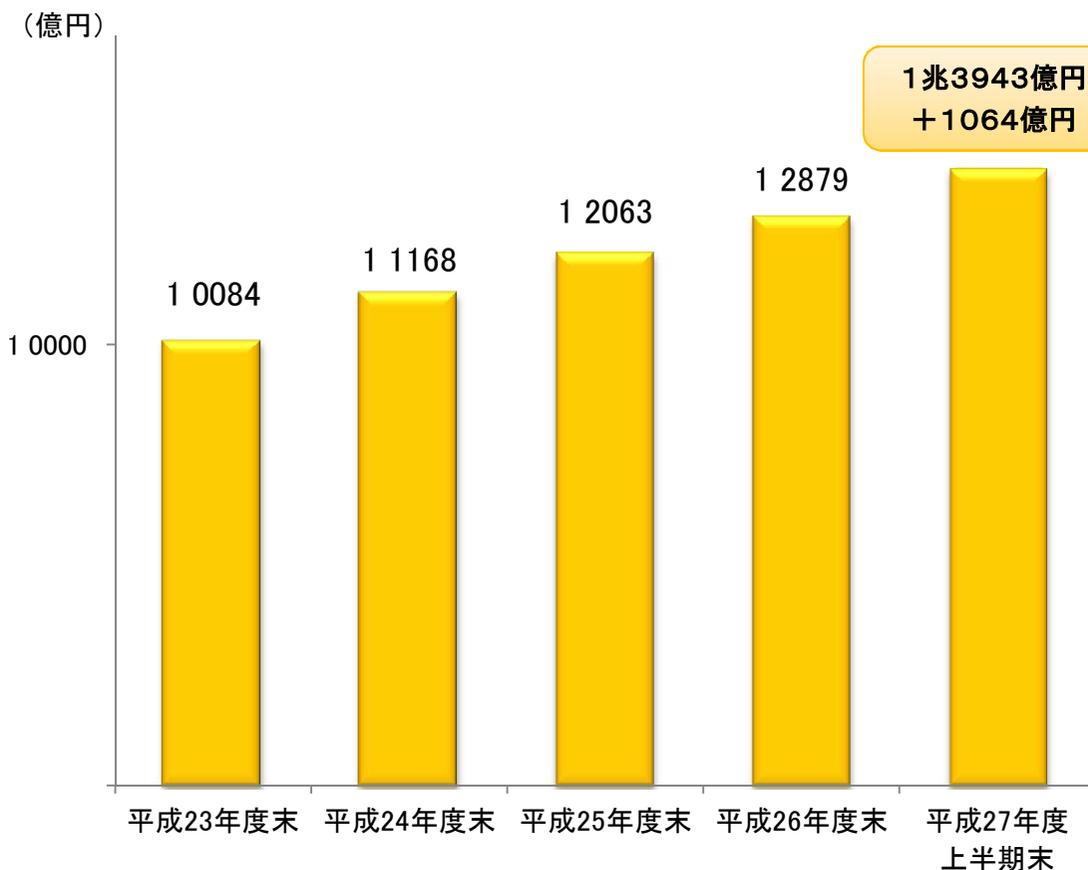


健全性の状況

- 内部留保は、前年度末比 1064億円を積み増し。
- ソルベンシー・マージン比率は、その他有価証券評価差額の減少等により、前年度末比 77.1ポイント減少するも、引き続き十分な水準を維持。

内部留保

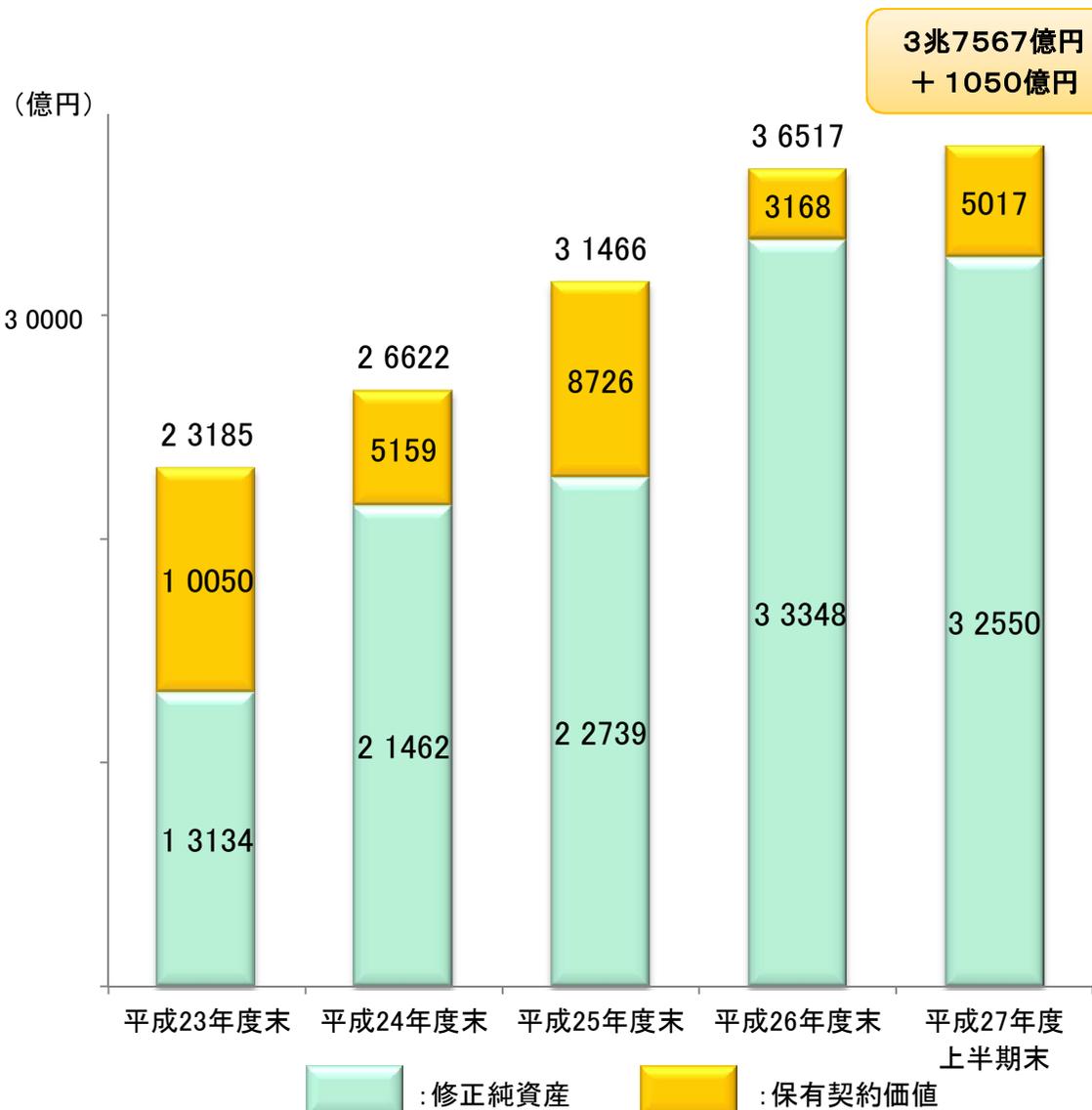
ソルベンシー・マージン比率



※内部留保は危険準備金、価格変動準備金、価格変動積立金、基金償却準備金(基金償却積立金を含む)です。

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー (EEV)

■ 住友生命グループのEEVは、新契約など保険事業活動の成果によるプラスの影響により前年度末比 1050億円増加。

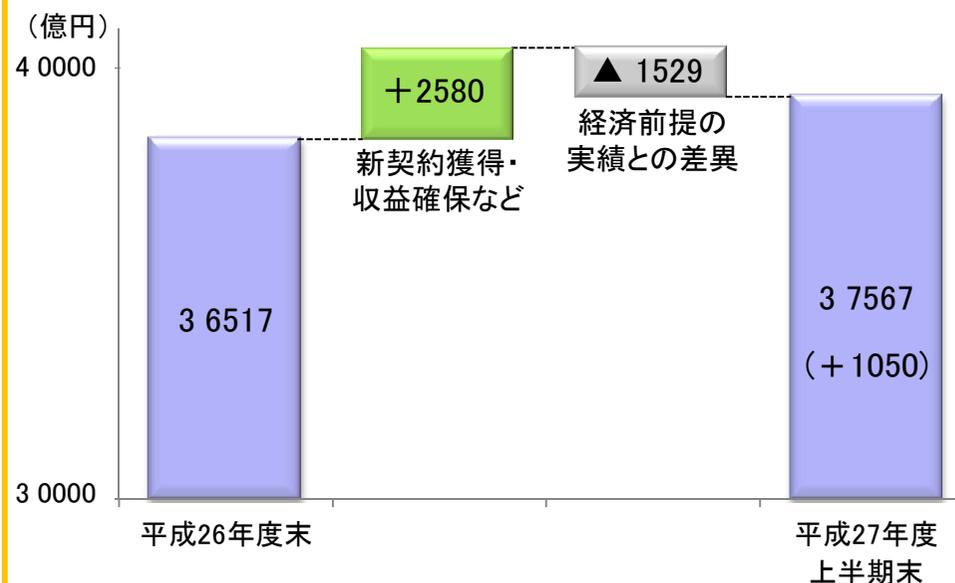


「スミセイ中期経営計画2016」の状況

	平成27年度上半期末実績	平成28年度末目標
企業価値 (EEV)	3兆7567億円	4兆0200億円

会社の健全性・成長性を表現するEEV (保有契約価値+修正純資産)

- EEVは、長期の保障を行う生命保険会社の価値を、将来収益も含めて現時点で認識するものです。
- 新契約獲得、解約失効抑制に加え、コスト削減、リスク削減状況なども含めた保険会社の実態を反映する指標であり、現行の財務会計を補完する指標のひとつとして、有用な役割を担うものと認識しています。



住友生命とメディケア生命の実績

新契約年換算保険料

	平成25年度 上半期	平成26年度 上半期	平成27年度 上半期
住友生命	600	669	732億円
メディケア生命	23	20	20億円
合 算 値	624	690	752億円 (+ 9.0%)

解約＋失効年換算保険料

	平成25年度 上半期	平成26年度 上半期	平成27年度 上半期
住友生命	559	414	475億円
メディケア生命	1	2	2億円
合 算 値	560	416	477億円 (+ 14.7%)

保有契約年換算保険料

	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度 上半期末
住友生命	2 1824	2 1642	2兆1666億円
メディケア生命	145	179	197億円
合 算 値	2 1969	2 1822	2兆1863億円 (+ 0.2%)

保有契約年換算保険料(うち第三分野)

	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度 上半期末
住友生命	5073	5107	5139億円
メディケア生命	93	126	141億円
合 算 値	5167	5234	5281億円 (+0.9%)

保険料等収入

※すべての単位は億円

	平成25年度 上半期	平成26年度 上半期	平成27年度 上半期
住友生命	1 2366	1 2488	1兆4804億円
メディケア生命	97	81	105億円
合 算 値	1 2464	1 2570	1兆4909億円 (+ 18.6%)

基礎利益

	平成25年度 上半期	平成26年度 上半期	平成27年度 上半期
住友生命	2152	1869	1666億円*
メディケア生命	▲20	▲30	▲28億円
合 算 値	2132	1838	1638億円* (▲10.9%)

変額年金に係る標準責任準備金等の影響を除いた基礎利益

	平成25年度 上半期	平成26年度 上半期	平成27年度 上半期
住友生命	1834	1645	1788億円*
メディケア生命	▲20	▲30	▲28億円
合 算 値	1814	1615	1759億円* (+8.9%)

※平成27年度上半期は、基礎利益には、個人年金保険の年金開始後契約の一部および第三分野保険の一部について、前年度以前に追加して積み立てた責任準備金からの戻入額を含めています。この戻入額を基礎利益に含めたことにより、基礎利益は128億円増加しています。

営業職員による保険販売

- 平成27年9月25日より「**1UP(生活障害収入保障特約)**」を発売。
- 平成19年3月、介護保障商品の支払要件を拡大して以来、**8年半ぶり**の主力商品の刷新。
- 多様化するお客さまニーズやライフサイクルに対応。高度なコンサルティング&サービスを前提とし、
 - ✓ 新たに**就労不能状態**を保障(**障害年金1・2級認定に連動**)、保障範囲は従来商品と比較して約3倍)
 - ✓ 死亡保障を分離し「**就労不能**」「**死亡**」それぞれの**必要保障額に合致したプラン**が提供可能

生活保険で、じぶんを救え。

1UP
未来デザイン ワンアップ



ブランド戦略のもと、お客さまとの最大の接点である 営業職員のレベルアップを図る取組みを実施

平成23年4月より、教育カリキュラムを見直し、入社後3ヵ月を教育重点期間と位置付け教育の向上を目的とした**当社独自の「四半期採用・育成」**を導入。

お客さまのライフプランに応じて将来必要となる保障額をシミュレートできる**「未来診断」**の機能を順次レベルアップ。

お客さま視点で理想的な、お客さまの喜ぶこと、満足することを考え、努力し、行動し続けるライフデザイナーの育成に注力。

金融機関等代理店の状況

- **平準払保険商品の取扱い金融機関数は着実に増加。**
平準払定額個人年金保険「たのしみ未来」は、平成27年9月末で113機関(前年度末比 +25機関)。
平準払終身保険「ふるはーとF」は、平成27年度9月末で53機関(前年度末比 +29機関)。
- メディケア生命を通じて、平成27年4月より、金融機関向けに、貯蓄とがん保障を兼ね備えた**一時払がん医療終身保険「メディフィットがんバリュー」**を発売。

メディケア生命・いずみライフデザイナーズの状況

- メディケア生命の保有契約件数は、**32万件を突破。**
平成27年5月より、**第一分野商品の「メディフィット収入保障」**を発売。
11月より**がんによる通院に手厚く備える医療新特約**を発売。
多様化するお客さまニーズに幅広く対応するためラインアップ拡充。
- いずみライフデザイナーズが運営する保険ショップ「ほけん百花」は、平成27年9月末時点で71店舗。



海外事業の状況

- 当社グループの収益基盤の多様化、企業価値の持続的成長を図ることを目的とし、今後も、地域分散を図るとともに、成長性と足元の収益性の両方を兼ね備えた海外事業ポートフォリオの実現に向けて、海外事業展開に取り組む。
- 8月に米国の上場生命保険グループであるシメトラ・フィナンシャル・コーポレーションの買収について合意。今後、日米監督当局による認可等を条件に、当社の完全子会社となる予定。

中国市場への進出

平成17年、最大手損保グループPICCと合併で生命保険会社を設立。銀行窓販や15万人を超える営業職員などによるマルチチャネル戦略を展開。平成27年1～6月の**新契約収入保険料は業界第2位**、**保険料収入は業界第4位**。

インドネシア市場への進出

平成26年にインドネシア4大国家銀行のバンク・ネガラ・インドネシアの生保子会社のBNIライフの発行済み株式約40%を取得。**親会社の1600を超える支店網を活用した銀行窓販**をはじめ、営業職員、従業員福利厚生およびシャリア(イスラム法に基づく保険商品の販売)の各販売チャネルを展開。

ベトナム市場への進出

平成25年に最大の保険・金融グループのバオベト・ホールディングスの発行済み株式18%を取得。グループ全体で6万9千人の従業員を擁し、全国に150支店を展開。平成27年1～6月の**生命保険・損害保険の保険料収入は業界第2位**。

米国市場への進出

完全子会社となる予定のシメトラ社は、1957年に設立された生命保険グループ。バランスの取れた事業ポートフォリオに基づく**安定した収益性**、業界経験豊富な経営陣の卓越したリーダーシップによる**高い成長性**、保守的な資産運用方針等に基づく**高い健全性**を有する。

資産運用の多様化・高度化に向けた取組み

- 投資対象の拡大や新たな運用手段の開拓といった**資産運用の多様化・高度化**を通じて、収益向上を図り、お客さまの利益に貢献する

外国債券の投資対象国拡大	従来投資してきた米国、欧州、豪州の周辺国の債券への投資を開始
海外社債への投資拡大	世界最大の市場規模である米ドル建社債市場を中心に投資を拡大
新たな運用手段の活用・開拓	生命保険会社の負債特性を活かし、新たな運用対象等に投資を開始

海外社債投資等の人員増員といった**体制面での強化**に加え、外部運用機関の活用等を通じて運用ノウハウの吸収に取り組み、**資産運用能力の向上**に取り組む

2015年9月期業績報告 財務・業績の概況

①-(1)契約の状況等(住友生命とメディケア生命との合算値)

		2015年9月期		15年3月期	14年9月期	
		15/3月期比	14/9月期比			
新契約年換算保険料	(百万円)	75,241	—	9.0	140,275	69,024
うち第三分野	(百万円)	20,452	—	1.7	39,717	20,109
保有契約年換算保険料	(百万円)	2,186,327	0.2	0.2	2,182,210	2,181,110
うち第三分野	(百万円)	528,117	0.9	1.5	523,425	520,382
保険料等収入	(百万円)	1,490,957	—	18.6	2,597,199	1,257,032
うち個人保険分野	(百万円)	1,096,810	—	8.4	2,059,078	1,011,497
うち団体保険分野	(百万円)	382,047	—	64.3	512,173	232,495
新契約高	(百万円)	2,380,674	—	6.2	4,646,070	2,240,947
保有契約高	(百万円)	101,270,839	▲ 1.4	▲ 3.0	102,721,431	104,429,912
解約+失効高	(百万円)	2,398,647	—	△ 4.0	4,950,903	2,497,731
解約+失効率	(%)	2.34	—	—	4.65	2.35

* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険 *3月期比、9月期比は増減率
 * 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)
 * 保険料等収入は損益計算書ベース
 * 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金保険、団体保険分野は団体保険+団体年金保険の合計保険料
 * 解約+失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

①-(2)契約の状況等(うち住友生命)

		2015年9月期		15年3月期	14年9月期	
		15/3月期比	14/9月期比			
新契約年換算保険料	(百万円)	73,209	—	9.3	136,263	66,990
うち第三分野	(百万円)	18,717	—	3.0	35,943	18,176
保有契約年換算保険料	(百万円)	2,166,608	0.1	0.1	2,164,215	2,164,797
うち第三分野	(百万円)	513,977	0.6	0.9	510,741	509,277
保険料等収入	(百万円)	1,480,439	—	18.5	2,579,517	1,248,885
うち個人保険分野	(百万円)	1,086,292	—	8.3	2,041,396	1,003,351
うち団体保険分野	(百万円)	382,047	—	64.3	512,173	232,495
新契約高	(百万円)	2,262,452	—	1.1	4,639,093	2,238,664
保有契約高	(百万円)	101,047,956	▲ 1.5	▲ 3.1	102,615,436	104,327,895
解約+失効高	(百万円)	2,397,865	—	△ 4.0	4,950,091	2,497,415
解約+失効率	(%)	2.34	—	—	4.65	2.35

* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険 *3月期比、9月期比は増減率
 * 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)
 * 保険料等収入は損益計算書ベース
 * 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金保険、団体保険分野は団体保険+団体年金保険の合計保険料
 * 解約+失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

②資産の状況等

		2015年9月末		15年3月末	14年9月末	
		15/3月末比	14/9月末比			
総資産	(百万円)	27,315,761	▲ 0.2	0.9	27,361,019	27,067,186
実質資産負債差額(実質純資産額)	(億円)	50,872	▲ 3.5	16.1	52,705	43,820
実質資産負債差額(実質純資産額) ／一般勘定資産	(%)	20.1	—	—	21.1	17.8
ソルベンシー・マージン比率	(%)	867.1	▲ 77.1	▲ 44.6	944.2	911.7

* 住友生命単体の実績を掲載
 * 3月末比、9月末比は増減率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・順ざや

		2015年9月期			15年3月期	14年9月期
			15/3月期比	14/9月期比		
基礎利益(合算)	(百万円)	163,832	—	▲ 10.9	405,040	183,877
基礎利益(単体)	(百万円)	166,669	—	▲ 10.8	410,839	186,900
		178,825	—	8.7	365,333	164,569

* 合算は住友生命とメディケア生命の合算値、単体は住友生命単体の実績を掲載

* 9月期比は増減率

* 下段(単体)の基礎利益については、変額年金保険に係る標準責任準備金繰入額等および戻入額等の影響を除いたベースで掲載

* 変額年金保険に係る標準責任準備金繰入額等および戻入額等は次のとおりです。

(14年9月期戻入額等 223億円、15年3月期戻入額等 455億円、15年9月期繰入額等 121億円)

* 15年3月期より、基礎利益には、個人年金保険の年金開始後契約の一部および第三分野保険の一部について前年度以前に追加して積み立てた保険料積立金からの戻入額を含めています。この変更により、基礎利益は、15年3月期は239億円、15年9月期は128億円それぞれ増加しています。

		2016年3月期の予想	2015年3月期の実額
順ざや額	(億円)	順ざや	81

* 住友生命単体の実績を掲載

④-(1)利差・死差・費差(住友生命とメディケア生命との合算値)

		2015年9月期			15年3月期	14年9月期
			15/3月期比	14/9月期比		
保険関係差益	(億円)	1,540	—	▲ 358	3,966	1,898
うち死差益	(億円)	1,654	—	▲ 55	3,320	1,709
うち費差益	(億円)	233	—	30	437	203
逆ざや額・順ざや額	(億円)	98	—	158	84	▲ 60

* 9月期比は増減実額

* 15年3月期より、基礎利益の計算方法を変更しています。この変更により、保険関係差益は、15年3月期は239億円、15年9月期は128億円それぞれ増加しています。

④-(2)利差・死差・費差(うち住友生命)

		2015年9月期			15年3月期	14年9月期
			15/3月期比	14/9月期比		
保険関係差益	(億円)	1,569	—	▲ 360	4,027	1,930
うち死差益	(億円)	1,644	—	▲ 57	3,305	1,702
うち費差益	(億円)	262	—	30	493	231
逆ざや額・順ざや額	(億円)	97	—	158	81	▲ 61

* 9月期比は増減実額

* 15年3月期より、基礎利益の計算方法を変更しています。この変更により、保険関係差益は、15年3月期は239億円、15年9月期は128億円それぞれ増加しています。

⑤準備金

		2015年9月末			15年3月末	14年9月末
			15/3月末比	14/9月末比		
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	23,238,704	5,482	225,246	23,233,222	23,013,458
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	21,264,870	354,179	685,234	20,910,690	20,579,635
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,973,834	▲ 348,697	▲ 459,988	2,322,532	2,433,823
価格変動準備金	(百万円)	314,347	62,100	57,200	252,247	257,147
危険準備金	(百万円)	342,900	27,800	34,700	315,100	308,200
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	108,127	—	300	108,127	107,827
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	106,792	27,301	27,301	79,490	79,490
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	83,898	▲ 801	4,598	84,700	79,300
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	44,082	1,300	2,500	42,782	41,582
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	165,000	—	—	165,000	165,000

* 15年3月末の危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載

* 3月末比、9月末比は増減実額

* 住友生命単体の実績を掲載

⑥含み損益

		2015年9月末			15年3月末	14年9月末
			15/3月末比	14/9月末比		
有価証券	(百万円)	2,871,432	▲ 180,129	582,221	3,051,562	2,289,210
うち国内株式	(百万円)	660,306	▲ 109,033	165,350	769,339	494,955
うち国内債券	(百万円)	1,582,980	10,668	329,584	1,572,311	1,253,395
うち外国証券	(百万円)	609,770	▲ 77,878	90,171	687,648	519,598
不動産	(百万円)	8,171	11,138	37,345	▲ 2,966	▲ 29,173

*不動産は再評価後の土地・借地権の含み損益を記載

*3月末比、9月末比は増減実額

*住友生命単体の実績を掲載

⑦運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式等	(億円)	88	横ばい
国内債券	(億円)	1,171	横ばい
外国株式等	(億円)	56	横ばい
外国債券	(億円)	4,203	増加
不動産	(億円)	▲ 56	微減

*国内株式等、外国株式等には投資信託等を含む

*住友生命単体の実績を掲載

⑧資産の損益がゼロになる水準

		2015年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	9,600円台
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	780ポイント台
国内債券	(%)	1.3%
外国証券	(円)	104円台

*株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

*日経平均は100円刻み、TOPIXは10ポイント刻みで掲載

*国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出

*外国証券はドル円換算にて算出し、1円刻みで掲載

*住友生命単体の実績を掲載

⑨2016年3月期の業績見通し

		2016年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	増加
基礎利益	(百万円)	減少
保有契約高	(百万円)	減少
保有契約年換算保険料	(百万円)	横ばい

*基礎利益の16年3月期予想は変額年金保険に係る標準責任準備金積立等の影響を除いたベースで掲載

*住友生命単体の実績を掲載

⑩銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの抛出(総額)

		2015年9月末
基金(株式)に対する抛出	(億円)	1,140
劣後ローン等	(億円)	-

*住友生命単体の実績を掲載

ii 銀行への抛出(総額)

		2015年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(億円)	2,093
劣後ローン等	(億円)	8,110

*基金抛出者以外の金額も含む

*銀行への抛出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

*住友生命単体の実績を掲載

⑪職員数

		2015年9月末		15年3月末	14年9月末	
		15/3月末比	14/9月末比			
営業職員	(人)	31,420	1.3	0.5	31,006	31,249
内勤職員	(人)	11,032	▲ 0.7	▲ 0.8	11,109	11,121

*3月末比、9月末比は増減率

*住友生命単体の実績を掲載

⑫銀行窓販の状況(住友生命とメディケア生命との合算値)

			2015年9月期		15年3月期	14年9月期
			14/9月期比			
変額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	37,168	35.1	60,576	27,510
	金額(収入保険料)	(百万円)	10,136	40.8	16,027	7,196

			2015年9月期		15年3月期	14年9月期
			14/9月期比			
一時払終身	新契約件数	(件)	21,890	▲ 17.5	51,385	26,557
	金額(収入保険料)	(百万円)	129,432	▲ 16.8	303,800	155,702
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

<全面解禁商品>			2015年9月期		15年3月期	14年9月期
			14/9月期比			
一時払+平準払	新契約件数	(件)	19,687	157.0	17,692	7,658
	金額(収入保険料)	(百万円)	5,339	110.5	6,032	2,536

*平準払商品の収入保険料は年換算保険料にて掲載

*14/9月期比は増減率

*全面解禁商品については、住友生命の商品は低解約返戻金型無配当終身保険、低解約返戻金型無配当介護保障終身保険、

低解約返戻金型無配当特別終身保険、低解約返戻金型無配当定期保険、

メディケア生命の商品は医療終身保険(無解約返戻金型)、限定告知型医療終身保険(無解約返戻金型)、一時払がん医療終身保険

料率区分型収入保障保険(無解約返戻金型)

⑫「銀行窓販の状況」には証券代理店実績を含む

その他質問項目(2015年9月)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入の状況

		2015年9月期	15年3月期	14年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金繰入・戻入	(億円)	121	△ 455	△ 223

*戻入額については△で表示

*住友生命単体の実績を掲載